

仁愛大学 適性 英語 出題の意図

①では、受験生が高校学習の基盤となる基礎的な文法力と語彙力を確実に備えているかを確認することを意図した。文法は論理・表現で扱う基本事項を中心に、語彙は日常的な学習で習得すべき語を問う構成とした。

②では、対話の流れに応じて適切な応答を選び取る力を見るため、場面性のあるやり取りから自然な返答を判断させる形式とした。

③では、情報量の多い約250語のウェブページを用い、必要な情報を素早く読み取り、目的に応じて検索する力を測った。「保護ネコ」という受験生にとって理解しやすい題材を選び、英文読解の負荷が適切になるよう調整している。

④では、英文とともに箇条書きの英文資料を2つ提示し、③と同様に複数の情報源を照合しながら必要な情報を効率よく取り出す力を問うた。また、資料全体の趣旨を把握する問題を加え、内容を統合して結論を導く力の確認も意図している。題材には「子どもの空腹・満腹のサイン」を扱い、受験生が具体的なイメージを持って理解しやすい内容とした。

仁愛大学 適性 国語 出題の意図

①では、漢字に関する出題で、読み書きの習熟度を測っている。問1では熟語を構成する漢字の意味や使用場面を関連づけて理解できるかを問い合わせ、問2では漢字の読み方を判別する構成とし、文章読解に必要な漢字・熟語の知識や理解度を測定することを目的とする。

②では、基本的な語彙力や四字熟語の知識、ことわざ、類義語や対義語の知識といった言語領域の能力を幅広く多面的な角度から総合的に問い合わせ、文章読解を支える要素の習熟度を測る。

③では、論説文、隨筆的な文体で書かれてはいるが、「ソーシャル・キャピタル」という社会概念を題材に、人間関係と資本主義の結びつきがもたらす問題点を述べている論説的文章である。「つながりを資本として捉える」という発想を通して、人間関係の道具化・効率化への警鐘を読み取れているか、大学生、親ガチャといった具体例を通して筆者の意見を把握できているかを問う。

①は漢字の出題、②は単問での言語知識の出題、③の論説文では、文脈の流れを正確に読み取り、語の意味や働きを理解して解答しなければならない言語問題を出題しており、文章読解問題における言語の活用能力をあわせて評価する。

仁愛大学 一般前期 英語 出題の意図

①では、受験生が高校英語の土台となる基礎的な文法力と語彙力を確実に身につけているかを確認することを目的とした。基本事項の理解度がそのまま得点にあらわれる構成としている。

②では、70～100語程度の対話文や短い説明文を用い、文脈を把握しながら情報を適切に読み取る力を測ることを意図した。短文であっても、内容の流れや状況の理解を求める形式としている。

③では、英語で書かれたウェブページを提示し、設問で求められた情報を的確に検索・抽出する力を問うた。情報量のある素材から目的の内容を素早く見つける技能の育成を重視している。

④では、英文とともに棒グラフ・折れ線グラフの資料を用い、③と同様に複数の情報源を照合しながら必要な情報を取り出す力を測定した。問2・問3・問5では選択肢を日本語とすることで、内容理解そのものに焦点が当たるよう配慮している。

⑤では、約340語の英文に対して空所補充、語彙、内容理解などの設問を課し、総合的な読解力を多角的に確認することを目的とした。構成の整った英文を素材とすることで、正確な読み取りを行う力の定着を図っている。

仁愛大学 一般前期 国語 出題の意図

①では、論説文、アリストテレスに始まる「技術＝自然の模倣」という考え方が、近代のベーコンによって「技術＝自然の支配」へ転換していく過程を、ガリレオの実験を例に挙げながら説明した文章である。「自然」「技術」「人間」の関係が歴史的にどのように変化したかを追うことで、筆者の論の展開と主張の構造を正確に読み取る力を問う。

②では、物語文、年を重ねた主人公が甥とのやりとりを通して、自らの老いと他者との関わり方を見つめ直す過程を描いた文章である。表面的な感情描写だけでなく、行動や言葉の裏にある心理の揺れを的確に読み取る力を測る。

③では、隨筆文、筆者の視点を交えつつ、フィクションと現実とのあいだにある曖昧な境界を見つめ、人間の思考や感情が物語的構造を持つことを論じた文章を題材としている。抽象的な概念語を文脈に即して正確に把握し、筆者の思考の展開を追う力を問う。

各大問では、共通して、漢字知識、語彙力、接続語の補充、文脈把握、全体の要旨把握などを通して、文章を正確に読み取る力を総合的に評価する。

仁愛大学 一般前期 数学 出題の意図

①では、因数分解や不等式などの計算問題に加え、「論理と命題」や「確率」などの分野からも出題した。数学の基礎的な知識が確実に定着しているか、また基本的な概念を正確に理解しているかを確認することを意図している。

②では、文字を含む2次関数の最小値を求める問題を出題した。2次関数に関する基本的な理解はもとより、文字が含まれる場合においても場合分けを適切に行い、正確に式を処理できる応用力を有しているかを評価することを意図している。

③では、箱ひげ図とデータをもとに、平均値や四分位範囲を求める問題、およびデータの一部を削除した際の中央値の変化を考察する問題を出題した。データの分析に関する用語の理解、データから適切に情報を読み取り考察する力を身につけているかを評価することを意図している。

④では、場合の数と確率に関する問題を出題した。正十二角形を題材とし、二等辺三角形や辺を共有しない三角形の個数を数える過程を通じて、図形的性質に関する理解と論理的な思考力を評価することを意図している。

⑤では、平面図形に関する問題を出題した。三角比や平面図形の性質に関する基本的な知識と理解が定着しているかを確認することを意図している。

仁愛大学 一般前期 化学基礎 出題の意図

①では、「純物質と混合物」、「原子の構造」、「イオン半径」、「酸化還元」の基本的な問題を出題した。また、反応式を記す問題も出題し、基礎的かつ根本的な理解力を問う構成とした。

②では、「周期律」と「電子式」及び「分子の形」について問うた。グラフとともに、文章の穴埋めの中で、定義の理解や基礎知識を問う構成とした。

③では、実験を基に、「物質量と化学反応式」の理解を問う出題とした。特に、グラフを読み取り、化学反応を理解する力、また、条件を変えた場合の考察力を問う構成とした。

④では、タンパク質中の窒素の含有量を調べる実験の中で、「酸と塩基の中和反応」についての理解力や基礎的な知識を問う構成とした。

仁愛大学 一般前期 生物基礎 出題の意図

①では、原核細胞と真核細胞、代謝の分野からの出題である。実験考察問題では、実験の意図を理解し解答できるかを問うた。また、系統樹に関する問題では、種の多様性の意味をしつかりと理解しておく必要がある。

②では、細胞周期、DNA の構造の分野からの出題である。計算問題や 50 字の論述問題もあり、普段からこれらの形式に対して準備しておく必要がある。

③では、体液、血糖濃度調節の分野からの出題である。40 字の論述問題、実験考察問題も含んでいる。ホメオスタシスについての深く理解を必要とする出題である。

④では、植生の遷移、環境問題の分野からの出題である。グラフを判断して解答する問題では、教科書に掲載されているグラフの縦軸、横軸の意味を正しく理解できているかを問うている。

仁愛大学 一般後期 英語 出題の意図

①では、受験生が高校英語の学習の基盤となる基本的な文法力と語彙力を十分に備えているかを確認することを目的とし、文法2問・語彙6問を配置した。基礎事項の定着度を直接的に測る構成としている。

②では、70～100語程度の対話文や短い説明文を用い、場面理解や内容の流れを踏まえて読み取る力を確認することを意図した。短文であっても、適切に情報をつかむ読解姿勢が求められる。

③では、英語の告知文とグループチャットを素材とし、異なる形式の英文から必要な情報を読み取り、目的に応じて整理する力を問うた。約250語と分量が多いため、時間内で処理する計画性も試される。

④では、英文と2種類の棒グラフを提示し、複数の情報源を照合しながら必要な情報を素早く探し出す力を確認した。資料全体の主題をつかむ問題も加え、内容把握の的確さを見てい る。

⑤では、約340語の英文に空所補充・語彙・内容理解などの設問を組み合わせ、総合的な読解力を評価することを目的とした。論理的な構成をもつ英文を素材として、丁寧な精読と一定量の多読が対策として有効になるよう設計している。

仁愛大学 一般後期 国語 出題の意図

①では、論説文、言葉が時代や文脈、人の感じ方によって肯定的にも否定的にも受け取られることを例示しながら、言葉の評価が絶対的ではなく相対的であることを論じた文章である。日本語には多様な受け止め方や語用の変化があるという筆者の主張や、例示から一般化、そして結論へ至る論理展開を把握できる力を測る。

②では、物語文、かつてソフトボール部のエースだった「私」が、肩の故障によって夢を断たれ、熱くなれない自分への戸惑いや過去の自分との折り合いを探る姿が描かれた文章である。人間の内面の葛藤を読み取る力を問う。

③では、隨筆文、奥会津の取材を通して出会った女性職人や身近な親族の手仕事を描きながら、日常に根差した「当たり前」の営みの中に真の美しさと価値があることを見いだすという文章である。具体的な経験を通して生じた筆者の考えを読み取る力を問う。

設問は、マークシート形式の四択設問を採用している。各大問では、共通して漢字知識、語彙力、接続語の補充、文脈把握、全体の要旨把握などを通して、文章を正確に読み取る力を総合的に評価する。